



大林水門ゲート設備新設工事現場
 参加者全員記念撮影

今回で9回目の一関遊水地見学会が行われ、30名の方にご参加いただきました。
 『一関遊水地事業』は、北上川の洪水から一関・平泉地区を守るために昭和47年から進められています。今回の見学会では、事業の進捗状況の確認や治水対策、河川管理施設の役割等を学習してもらいました。

12月9日に行った 一関遊水地見学会



遊水地展望台

遊水地の概要と河川施設の説明



堤防除草

草刈機 (大型遠隔操縦式) 稼働実演と操縦体験

楽しかった



大林水門ゲート設備新設工事現場

ゲートの開閉を模型で説明



あいぽーと

排水ポンプ車の説明



あいぽーと

集中管理センターの説明

参加された方からのご感想を一部ご紹介します。

- こんなにも助けられていることをもっと沢山のの人に知られると良いと思った。(女性 22歳)
- 大変な事業ご苦労様です。(女性 73歳)
- 工事の進捗をみたいので次回もあれば参加したいと思います。(女性 66歳)
- 今回の見学会で遊水地の役割が理解できた。(男性 73歳)

◆◆編集後記◆◆12月も半ばですね。クリスマスが近づいてきましたが、皆さんの予定は決まりましたか♪あちらこちらで素敵なイルミネーションが見られるのも、冬の楽しみの1つですよな♪(か)



胸に刻もう

『カスリン・アイオン台風70年』

～風化させない歴史とつなげる未来～